

会議録

会議の名称	令和３年度 第６回座間市地域包括ケア会議		
開催日時	令和 ４年 １月 １８日（火）１４時００分～１５時２０分		
開催場所	T e a m s		
出席者	後藤委員、松永委員、金子委員、落合委員、平原委員、高間委員 宮田委員		
事務局	健康部介護保険課地域支援係 小林係長、植野主事、蒲田主事補 会計年度任用職員 柴原		
会議の公開可否	□公開 □一部公開 ■非公開	傍聴者数	０人
非公開又は一部公開とした理由	座間市地域包括ケア会議開催要綱第６条第２項に該当するため		
議題	議題１ 危機管理課との地域課題検討会議を経て今後の課題の検討について その他		
資料の名称	１ 令和３年度 第５回 座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会 会議録 ２ 令和２年度 地域課題まとめ		
会議の結果			
事務局	これから令和３年度 第５回 座間市地域包括ケア会議を開催します。		
委員	議題１について		
	危機管理課との地域課題検討会議の報告について、まず、１１月２５日に開催を延期していた地域課題検討会議を開催した。		
	４０分危機管理課からの講義で、２０分ぐらい意見交換を行った。当日は３５名が参加した。		
	災害時の要支援者の名簿の話になったときにその話に引っ張られたところがあって、名簿はどうなったかという内容の展開になってしまった。危機管理課から要支援者の名簿について座間市が作るという話が出たときに今までと違うやり方だったので、問い合わせが多くなっている。		
	アンケート結果から会議自体は、良かったという感想が多かった。		
	地域の取組や防災については、今何ができるのか確認したところ、避難訓練をやっているところがあったり、やれていなかったりした。		
	また、災害時に見守りができている体制になっていないということだっ		

	<p>たが、一方でコロナというところで地域活動自体が縮小しており、日頃の見守りどころではなく、日頃の声かけ等が難しくなった。という意見もあった。現実的な意見を聞けて良かった。</p> <p>これで全ての包括が実施したというところで、前回の議事録から災害・防災というところはそもそも地域の課題なのか定期的に行った方がいいのか。市全体で取り組む課題なのか。地域ごとに取組む課題ではないのか。取組としては、令和２年度から取組をしたが、今後の進め方としてどうしたらいいのか等意見をうかがいたい。</p>
委員	<p>初回の感触としては、地域的に川に隣接している地区でもなかったためか、そんなにみなさん議論が活発ではなかった。ただし、少なくとも災害等の話を聞いたという部分にかんしては有益性を感じた。こういう話は定期的に行っていないと忘れてしまう。</p> <p>我々がそもそも災害の話をしたのは、情報弱者に情報を届ける必要性があるのではないか。という話からなので、一年に一回ぐらいはそういった話を情報弱者に情報を提供していただけるような民生委員やサービス事業者の方を対象に開催していった方が良いのではないかと考えている。</p>
委員	<p>前回の包括ケア会議でも話したが、自分の地区はものすごく活発で１時間では足りなかった。消化不良だった等の感想もいただいている。また、定期的にこのような会議をしてほしいという希望も多かった。</p> <p>実際に台風１９号の避難を経験している人たちなので、災害に対しては身近な地区であり、独居の高齢者や認知症の症状が出ている高齢者、避難が大変な高齢者などをどう避難誘導していくのかを定期的な開催で詰めていければと思うが、そこを整理せず同じ内容で何回開催しても意味がないと考える。</p>
委員	<p>参加してもらった人の反応を確認すると、川の近くの地区ということで関心が高いと思ったが、思ったより反応が薄かった。ただ、いつこういう災害が起こるかわからないなかでは、地域住民に知ってもらったり、意識してもらったりする必要がある。また、移動というところでは、坂が多く大変な地区になっている。そういう意味では、流域に住んでいる高齢者は自分で逃げられないかもしれない。なので、どう支援していくのか、すぐには解決策は見つからないかもしれないが、今後地域の皆さんと話し合え</p>

委員	<p>るように働きかけていきたい。</p> <p>全員が参加していないなかで、今後どう進めればいいのか確認することになるが、定期的を開催していこうということになった。そこで、同じ内容を繰り返すのか、中身を深化していく方が良いのかというところで、意見を聞きたい。</p> <p>また、災害・防災に関心が高い地域がある一方でそうじゃない地区があったり、災害が起こりづらい地区があったりするなかで、今後どう開催していけばいいのかも含めて確認したい。</p>
委員	<p>周知活動ということでは、交流もでき研修もやったということで地域ごとに反応に差があったとしても必要なことだと思った。ただし、回数として年にどれだけやるのか、会議主催はどこが行うかという問題もある。</p> <p>さらに、どこに向けて周知活動をすればいいのか。もっと狭い地区で開催した方が良いのかということ等にも整理が必要だと考える。</p>
委員	<p>難しいところではあるが、防災について本格的に話をするとなると包括が主催というのをどう考えたらいいいのかということもある。話を届ける対象者が高齢者であるから包括が主催と理解している。</p>
委員	<p>改めて地域課題検討会議のなかで災害・防災をテーマに開催していけばいいのかどうかは自分はわかっていないが、高齢者だけではなく障がい、子どもなども情報弱者ということであれば、地域課題検討会議として今後も開催していいのかわからない。ただ、自分の地区では消化不良に終わっているので次回に期待している人たちがいる。</p>
委員	<p>正直なところ、この後の展開で包括が引き続き主催となるのであればどうすればいいのかわからない。</p>
委員	<p>前回、地域課題検討会議をやって、今後どう進めていけばいいのか、年一回定期的に開催するのか、開催するにしてもその内容について同じ内容でいいのか、深化させた方が良いのか地域ごとに事業が違うなかで判断するのは難しい。</p>
委員	<p>自分の地区は平らで川もないし、災害に関してはあまり関心がないとい</p>

	<p>う印象を抱いた。それでも地震なら多少は関心はあると思う。なので、今後、年1回の定期開催でもそれほどの効果はないかもしれない。</p>
委員	<p>もともと災害・防災をテーマに研修会をするという話になったときに、地域課題検討会議で扱おうということになった。ということは、地域課題検討会議として続けていくことに疑問がある。</p>
委員	<p>やる必要性はあるとしても包括主催の地域課題検討会議として毎年実施していく方が良いのかということか。</p>
委員	<p>災害・防災に意識が高い地域と自分たちの地域とは異なるかもしれない。</p>
委員	<p>生活支援コーディネーターの第1層か第2層かは別として、災害・防災をテーマとして今回包括が主催して進めた、そのため高齢者を対象者に始めたが、今後他の情報弱者に対象を広げていくことが地域課題検討会議で可能なのだろうか。</p>
委員	<p>そのことを考えると今後も地域課題として共生社会、包括的支援の視点を取り入れるのであれば、対象者を広げていくことは必要であるが、包括主催の地域課題検討会議として開催するのは違うのではないか。地域課題検討会議として行うのであれば、もう少し高齢者の方から災害・防災という視点で課題をヒアリングしたり、アンケートを取ったりしたうえで、課題として検討していくというのが、意味合い的にはいいのではないか。</p>
委員	<p>台風19号のときに危機管理課にあった意見に、自主避難に関するものがあつた。どういうことが大変だったのか、初めて避難する人たちはいろんな意見をもっているの、集約し、そういうなかで何が一番ニーズとして考えられるのかを拾い上げていかないと今後の展開は難しい。地域課題検討会議で災害・防災を継続して取り扱うならそういうことを切り口にするのはどうだろうか。</p> <p>ただ、そもそも地域課題検討会議は、個別ケア会議の積み上げで行うもののなかで、個別ケア会議の課題を集約して地域課題検討会議へつなげていくものなので、次の地域包括ケア会議で話し合う課題は、災害・防災だけではないと思っている。</p>

	<p>他の包括からこのことを課題として設定してほしいというのがあれば聞きたい。</p>
委員	<p>事前の資料で地域課題のまとめが配布されているが、前年度、前々年度の中身はそんなに変わっていないと考える。地域課題のまとめからだけではなく、それにこだわらなくてもいいので意見を聞かせてほしい。</p>
委員	<p>新たにに取り組む地域課題と考えていいか。</p> <p>地域課題のまとめというよりは、自分の地域で取り組んでいるのが、地域住民が感じている課題と専門職が感じている課題がリンクする部分を探して、地域住民と専門職の距離を縮めることができないかという取り組みを来年度実施するための下準備をしている最中である。</p> <p>そのことが今後自分の地域の地域課題検討会議のテーマになっていくのではないか。</p>
委員	<p>自分たちの地域では、相談として非常に多くなってきたのは、身寄りのない独居高齢者の支援であり、その都度、対応を考えている。</p>
委員	<p>個別ケースについては確かに独居に対する支援、特に金銭的な問題も含めて身寄りがない方の支援だったら、増えてきているが、個別ケア会議としてはあまり開催されていない。</p>
委員	<p>独居の方の支援は他の地域同様増えてきている。独居だけではなく独居で認知症の症状が発症している方の相談も。ただ、最近は、認知症の症状なのか、以前からの精神疾患なのかわからない方への対応というのが件数自体は少ないが、対応は難しいと感じている。</p>
委員	<p>生活支援コーディネーターとしてもそういう話はあるのか。</p>
委員	<p>包括のような地域課題としての把握はないが、第二層生活支援コーディネーターとして把握している地域課題としては、買物と移動や移送についての課題は多いのではないかという印象がある。</p>
委員	<p>以上の話から令和４年度として取り組んでいく地域課題は、身寄りがない</p>

	<p>く独居の方で、金銭的な課題を抱えていたり、認知症の症状がある方に対する支援についてとそういった方に対する住民の周知とかになるのでしょうか。</p> <p>全員が参加していないなかで地域課題を確定することができないが、来年度の地域課題なるのではないかと考える。</p> <p>また、地域課題検討会議のテーマとして災害・防災となったときに、まず研修を通じて知ってもらおうというのがあった。その後は、こういう人にはこういう支援が必要、こういった避難の方法があるというような具体的な話が展開できれば地域課題検討会議で扱うにはふさわしくなると考えるが、災害、防災を扱うことの終わり方についての課題は残る。そのため、毎年地域課題検討会議として開催するのであれば、そのための準備が必要で、地域ごとの温度差を考えると全包括が行っていくというのは難しいのではないか。</p>
委員	<p>地域ごとに住民の反応が違っていたというのも一つの結果だし、そういう意味では、開催してよかった。自分の地域はそんなに熱心でなかったにしろ、少なくとも自分は今後も必要としている人に情報を届けていきたいと考える。</p> <p>地域によっては、議論が白熱したというのであれば、それは地域の課題と考えられるので、その地域では今後も継続して開催すればいいと考える。</p> <p>その手段に地域課題検討会議を利用するのであればそれは包括の判断でいいと思う。</p> <p>ただし、気になることとして、危機管理課が今回のことをどう考えているかわからないことである。今後も災害・防災の話をしていくのであれば、危機管理課の意見も聞く必要があり、危機管理課の方でも開催した感触があると思うので、それを把握しておきたい。</p>
委員	<p>確かに危機管理課の意見を聞いていない。次回の地域包括ケア会議の前までには確認することは可能なのか、それを元に今後の方向性については包括ごとの判断に任せるということではいかがか。</p>
委員	<p>今回、災害・防災について周知するについては達成できた。それとは別に生活支援コーディネーターとか地域住民の話を聞くと災害・防災の話よりは買物についてだとか多世代交流だとか自治会の活動が先細りの状態で</p>

	<p>あるという話をきく。それらを踏まえると自分は災害・防災については地域住民からまたニーズが出てきたら開催していけばいいと考えるが、そういう判断は包括ごとにしていけばいいのではないか。</p> <p>委員 今回の災害・防災については、地域住民や民生委員などに防災等の意識づけをするというのが目的だったため、それは達成できた。</p> <p> そのため、次の段階というよりは、新しい段階に移ってもいいのではないか。地域ごとに違いはあると思うが、災害・防災よりは買物だったり、通院の手段だったり、地域住民にとっては身近であり大きな問題になっている。なので、災害・防災というテーマについては委員が全員出席していないので決定できないが、次年度の地域課題は新たに検討することにして、災害・防災を扱うのは今回で終了としたい。</p> <p> この会議は解決のための場ではなく、提案とかをしていく場であり具体的な解決方法を話し合うという場ではなく、共有の場や、市に提案していく場であると考えている。</p>
委員	<p> 他の委員も同じような意見であれば、災害・防災のテーマは今回でいったん終了して、また機会が生じたら地域課題検討会議とは別の方法で開催していけばと考える。なので、次年度は新しい地域課題に取り組みたい。</p>
委員	<p> 以上を整理すると、災害・防災については周知できたので、当初の目的は達成できた。そのため地域課題検討会議で災害・防災を扱うのは今回で終了とする。今後何かの機会が生じたら地域課題検討会議とは別に開催することになるが、その判断は各包括に任せる。地域課題検討会議としては、令和4年度は新しい地域課題をテーマに考えていく。ただし、委員が全員そろっていないためこれは決定ではなく、次回の地域包括ケア会議でも再度話し合う。</p> <p> また、次回の地域包括ケア会議までに危機管理課の感想を介護保険課経由で確認する。場合によっては、危機管理課に地域包括ケア会議に出席してもらう。その調整は介護保険課に頼めるか。</p>
事務局	<p> 担当者レベルの話としては、周知の場を与えてもらってありがたかったという感想をいただいている。</p> <p> 地域課題検討会議は、研修をするのが目的ではなく、地域の方々と自分</p>

	<p>たちの地域の課題をとらえる場としてもらいたい。</p> <p>危機管理課との調整に関しては、必要であれば対応することはできる。</p>
委員	<p>介護保険課の方で危機管理課と調整をしてもらえるということなので、それ以外として、包括ごとに地域課題を検討し挙げてもらう。挙げたもらったものを地域包括ケア会議内で協議し、次年度の課題として考えていく。</p> <p>現段階としては、独居で認知症の症状が出ている方が課題として挙がってくる可能性を感じるが、これは決定ではない。</p> <p>次回３月の地域包括ケア会議で地域課題として挙げてもらう。それまでに、今回の地域課題の一覧の最新版を用意することは可能か。最新版の一覧を作成するためには、各包括が個別ケア会議と地域課題検討会議の報告書を提出する必要があるが。</p>
委員	<p>自分の地域の地域ケア会議は、個別ケア会議を３回。地域課題検討会議を１回開催しており、今後も個別ケア会議を１回開催する予定になっている。それらを通じて認知症や精神疾患等の対応も含めて８０５０問題についての内容が印象的である。地域課題の一覧がなくても今年度の地域ケア会議の進捗状況も含めて状況を教えてほしい。</p>
委員	<p>個別ケア会議を２回か３回か開催しているが、報告書を提出しているかどうかは不明な状況である。</p>
委員	<p>全然報告書を提出できていない。ただし、必要な回数は実現できていない。独居の高齢者や認知症か精神疾患等が疑われ家族と疎遠になっており、ケアマネジャーが振り回されているという内容の個別ケア会議はあった。</p> <p>地域課題検討会議については、四つの地区ごとにそれぞれの課題を抽出するというやり方をしている関係で、地域課題検討会議の方が、個別ケア会議の回数より多くなっている状況である。そのため、個別ケア会議からというよりは生活支援コーディネーターと協働して地域住民から直接課題を吸い上げている。</p>
委員	<p>おそらく必要な回数は開催できているが、記憶が定かではない。</p>
委員	<p>地域課題検討会議として大学の研究事業やケアマネ交流会を当てている</p>

	<p>ので回数は達成できているが、個別ケア会議は達成できていない。ただし、今年度印象的なのは、認知症独居の方が徘徊する事があり、そのことで警察に保護されたというケースがあった。</p> <p>委員</p> <p>各包括で、個別ケア会議で開催していなくてもこんなことがあったという話はできると考える。そういう情報を含めて個別ケア会議で抽出された地域課題等から次年度に取り組む地域課題を検討するというのはどうだろうか。</p> <p>事務局には、報告書を早く提出すれば、最新の地域課題の一覧を作成することはできるか</p> <p>事務局</p> <p>もちろん作成するための時間はいただきたいが、次回の地域包括ケア会議でそういう資料が必要ということであれば、別の会議で報告書について検討しているところであるが取り急ぎ集約して簡素化した状態のものになるかもしれないが、作成自体は可能である。なので、報告書がまだであれば報告書をなるべく早く提出してほしい。</p> <p>その他について 特になし。</p>
--	---